



一般社団法人日本保全学会 第18回学術講演会

「カーボンニュートラルと原子力の貢献」

京都大学吉田キャンパス／オンライン 2022年7月13日(水)～15日(金)

特別企画

エネルギー安全保障やコロナ感染症を例に

リスクに立ち向かう

2022年7月13日(水)

百周年時計台記念館・百周年記念ホール

一般参加無料

【開会式】

- | | |
|---|--------------------------|
| 13:15 開会挨拶 | 堀池 寛(実行委員長 大阪大学名誉教授) |
| 13:20 歓迎の挨拶 | 北村隆行(京都大学副学長・理事) |
| 13:40 (基調講演)「民意の暴走とリスク社会の行方」 | 佐伯啓思(評論家 京都大学名誉教授) |
| 14:35 (特別講演)「新型コロナウィルス感染症のリスク評価」 | 西浦 博(京都大学医学研究科教授) |
| 15:30 (特別講演)「脱炭素が招いたウクライナ戦争、戦時に備えるエネルギー政策は」 | 杉山大志(キヤノングローバル戦略研究所研究主幹) |

【企業展示】

7月13日 13:00-15日正午 国際科学イノベーション棟 5階ホワイエ(学術講演会 H会場)



本講演会は、7月13日～15日に開催される一般社団法人日本保全学会学術講演会の初日に実施する特別企画です。一般の方や学生さんの参加も歓迎します(参加費無料)

第18回学術講演会事務局(日本保全学会西日本支部) am18@jsm.or.jp

基調講演「民意の暴走とリスク社会の行方」

佐伯 啓思 (さえき けいし)

評論家、思想家、京都大学名誉教授

1949年奈良県生まれ。東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。広島修道大学商学部講師、滋賀大学経済学部助教授、同教授を経て、1993年京都大学大学院教授。2015年定年退職、名誉教授。現在は京都大学人と社会の未来研究院特任教授。第4期文部科学省中央教育審議会委員。共生文明学、現代文明論、現代社会論、社会思想史を研究テーマとし、現代社会を文明論的観点から捉え、政治、経済の分野を中心に広く評論活動を行っている。1985年『隠された思考 市場経済のメタフィジックス』(筑摩書房)でサントリー学芸賞受賞。1994年『「アメリカニズム」の終焉』(TBSブリタニカ)でNIRA政策研究・東畠記念賞受賞。1997年『現代日本のリベラリズム』(講談社)で読売論壇賞受賞。2007年第23回正論大賞受賞。



特別講演「新型コロナウィルス感染症のリスク評価」

西浦 博 (にしゅら ひろし)

京都大学医学研究科社会健康医学系専攻教授

1977年大阪府生まれ。宮崎医科大学医学部卒業。広島大学大学院保健学研究科博士課程修了。長崎大学熱帯医学研究所特任准教授、ユトレヒト大学理論疫学博士研究員、香港大学公衆衛生大学院助理教授、東京大学医学系研究科准教授を経て、2016年北海道大学医学研究院教授。2020年京都大学医学研究科社会健康医学系専攻教授(現職)。専門分野は、危機管理、統計的モデル論、生物統計、疫学、数理モデル、感染症など。2018年内閣府食品安全委員会専門委員、2016年北海道総合保健医療協議会委員、2015年厚生労働省エイズ動向委員会などを歴任。2020年日本でのコロナ感染症流行の当初より、「流行拡大を防ぐには人との接触を8割削減することが必要」と提唱し、マスコミ・ネット上では「8割おじさん」として知られるようになった。2021年統計関連学会連合大会において、「感染症流行の統計数理モデル等に関する先駆的な研究」の功績に対し、第17回日本統計学会統計活動賞を受賞。その他、受賞多数。



特別講演「脱炭素が招いたウクライナ戦争、 戦時に備えるエネルギー政策は」

杉山 大志(すぎやま たいし)

キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

1969年北海道生まれ。東京大学理学部物理学科卒業。東京大学大学院工学研究科物理工学修士了。(財)電力中央研究所上席研究員、国際応用システム解析研究所(IIASA)研究員、キヤノングローバル戦略研究所上席研究員を経て、2019年より同所研究主幹(現職)。国際学術会議科学執行委員、京都議定書CDM理事会パネル委員、産業構造審議会専門委員、IPCC第四次評価第三部会及び統合報告書主著者、第五次評価第三部会総括執筆責任者、産経新聞「正論」執筆者を務めるなど、温暖化問題およびエネルギー政策に深く精通し、日本のエネルギー・環境研究をけん引する。2007年エネルギーフォーラム賞優秀賞受賞(「これが正しい温暖化対策」エネルギーフォーラム社)、2011年エネルギー資源学会第七回論文賞受賞。


